

婦人科

診療科の紹介

婦人科では幼児期・思春期から更年期・老年期に至るすべての女性のヘルスケアを行なっています。女性特有の症状でお悩みになっている方が、身体的にも精神的にも少しでも楽になれるよう、専門性を生かした診療を心がけております。

今年度より、常勤医師1名で診療にあたっています。主に外来での診療を行なっておりますが、レーザー蒸散術や婦人科の小手術も入院・外来両方で行なっております。なお、開腹や腹腔鏡などの手術は行なっておりませんので、当科での精密検査でそのような手術が必要と判断した場合は手術加療可能な施設への紹介を行なっております。

また、外来での待ち時間短縮のため、完全予約制で行なっています。

外来新患受診の際は、かかりつけのクリニックや病院・医院(産婦人科の必要はありません。)で相談され、担当医の先生に紹介状の作成と受診予約(当院診療連携室経由)を取って来院されてください。特にかかりつけがない場合でも受診可能ですが、特定医療費(7,700円)が別途かかりますので、ご了承ください。

取り扱う主な疾患

- 卵巣腫瘍・子宮筋腫などの良性疾患
- 子宮頸部異形成(軽度～高度)
- 無月経、月経周期異常
- 月経困難症、月経随伴症候群、月経前症候群
- 更年期症候群
- 不妊症検査
- 性感染症
- 子宮脱、膀胱脱などの骨盤臓器脱
- 不正出血
- バルトリン腺嚢胞
- 性虐待・性被害

当科の特徴

■婦人科内分分泌および女性のヘルスケア

原発性および続発性無月経、月経不順や過多月経、月経困難症、月経前症候群の診断と治療、不妊症・不育症の検査ならびに更年期障害、不正出血などの治療を行ないます。

月経困難症や過多月経に対しては、その病状を評価した上でホルモン療法や漢方療法、対症療法を提示させていただき、希望に沿った治療を積極的に行なっています。

更年期特有の症状に関しても、問診や診察を行なった上で、治療方法を提示しています。

■子宮がん検診で精密検査が必要となった際の対応も行なっています。

子宮頸部中等度異形成に対して侵襲の少ないレーザー蒸散術(入院)を行なっています。

外陰部の悩みについても適宜対応しており、バルトリン腺嚢胞に対しては開窓術(主に外来)などを行なっています。

■検査

- ・超音波断層法
- ・ドブラー法
- ・CT診断
- ・MRI診断
- ・コルポスコープ
- ・細胞診
- ・組織診
- ・腫瘍マーカー
- ・子宮卵管造影検査
- ・内分泌検査
- ・骨塩量測定

■治療実績

- ・月経困難症・月経前症候群に対する薬物療法
- ・子宮頸部中等度異形成に対するレーザー蒸散術
- ・子宮頸管ポリープ摘出術
- ・バルトリン腺嚢胞に対する開窓術
- ・尖圭コンジローマに対するレーザー蒸散術、冷凍凝固、薬物治療
- ・骨盤臓器脱に対する非観血的整復法
- ・子宮筋腫・子宮内膜症に対する各種ホルモン療法(ミレナ留置も含む)
- ・更年期障害に対するホルモン補充療法・漢方療法
- ・不妊症に対する諸検査(子宮卵管造影検査も含む)や治療
- ・ヘルペス・クラミジアなどの性感染症の診断と治療

スタッフ紹介



婦人科主任部長
今福 雅子
いまふく まさこ